

September 17, 2019

**【前日の為替概況】中東有事のドル買い、対円 108.17 円、対ユーロ 1.0994 ドル**

16日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは3営業日ぶりに反落。終値は1.1001ドルと前営業日NY終値(1.1073ドル)と比べて0.0072ドル程度のユーロ安水準だった。サウジアラビアのアブドルアジズ・エネルギー相は14日、国営石油会社サウジアラムコの石油関連施設が攻撃を受け、2カ所の石油生産が一時的に停止したことを明らかにした。中東の地政学的リスクの高まりを背景に全般ドル買いが進み、1.0994ドルまで下落した。主要通貨に対するドルの値動きを示すドルインデックスは98.71まで上昇。

もともと、売りが一巡すると1.1000ドルを挟んだ狭いレンジ取引に終始した。10月の米中通商協議に向けての事務レベルの会合や米連邦公開市場委員会(FOMC)を控えて、徐々に様子見ムードが強まった。

ドル円は小幅ながら上昇。終値は108.12円と前営業日NY終値(108.09円)と比べて3銭程度のドル高水準だった。欧州株相場下落を受けて20時30分前に一時107.68円付近まで値を下げたものの、107円台半ばには本邦実需勢の買いが観測されていることもあり、その後は徐々に買い戻された。米10年債利回りが1.87%台まで低下幅を縮めると全般ドル買いが加速し、108.17円と日通し高値を更新した。

なお、9月米NY連銀製造業景気指数は2.0と予想の4.0を下回ったものの、相場の反応は限られた。

ユーロ円は3日ぶりに反落。終値は118.96円と前営業日NY終値(119.72円)と比べて76銭程度のユーロ安水準。緊迫する中東情勢への懸念から米国株やユーロドルが下落すると、ユーロ円にも売りも出て一時118.69円と日通し安値を付けた。

ポンドドルは軟調。ジョンソン英首相とユンケル欧州委員長はこの日、ルクセンブルクで英国の欧州連合(EU)離脱問題について会談。ジョンソン首相は「英国の法を順守する」としながらも「EUと合意できない場合、10月末にEUを離脱する」と改めて表明した。「合意なき離脱」への懸念が再燃しポンド売りが強まると、一時1.2400ドルと日通し安値を付けた。全般ドル高が進んだ影響も受けた。

**【本日の東京為替見通し】ドル円、中東有事のドル買いと地政学リスク回避の円買いの闘ぎ合い**

本日の東京市場のドル円は、ニューヨーク市場での中東有事のドル買いの流れと地政学リスク回避の円買いで動きづらい展開が予想される。

14日にサウジアラビア東部の国営石油会社サウジアラムコの石油施設が、イエメンの親イラン武装組織フーシ派による無人機(ドローン)で攻撃され、石油生産が日量570万バレル減少(世界の石油供給の5%超)すると報じられている。報道によると、10機のドローンが1000キロ以上を飛行して空爆し、爆撃機やミサイルに対する防衛システムが機能しなかった模様で、フーシ派は攻撃の継続を警告している。

ポンペオ米務長官は、イランによる攻撃の可能性、と批判し、トランプ米大統領は、「検証の結果次第では臨戦態勢を取る」と警告している。

外国為替市場での「有事のドル買い」は、国際紛争などの場合、基軸通貨の米ドルが避難通貨となる現象だが、湾岸戦争のように米国が有事の当事者になった場合は、ドル売り、地政学リスク回避の円買いとなることで、米国とイランとの軍事衝突の可能性に要警戒となる。

本日は、中東情勢の進展を見極めながら、今週予定されている重要イベントの結果を待つ展開となる。

17-18日の米連邦公開市場委員会(FOMC)では、0.25%の第2次追加利下げが織り込み済みだが、トランプ米大統領はマイナス金利を要請していることで、FOMC声明やパウエルFRB議長の会見で年内の利下げの射程を見極めることになる。

18-19日の日銀金融政策決定会合では、黒田日銀総裁がマイナス金利の深堀りを示唆したことで、追加緩和への期待感が高まり円安要因となっている。

20日に予定されている米中次官級通商協議では、トランプ米大統領が「暫定合意」を目指していることで、合意に向けた期待感が高まっているものの、ムニューシン米財務長官が為替相場と為替操作も協議すると述べており、香港問題が俎上に上がる可能性もあることで、予断を許さない状況が続く。

また本日からの第74回国連総会に併せて開催される日米首脳会談では、日米通商合意への期待感が高まっている。しかし、トランプ政権は、日本からの輸入自動車に対する25%の追加関税について11月13日が期限の「1962年通商拡大法第232条に基づく措置」は留保しており、日米貿易不均衡是正を巡る交渉カードとして温存された形となっている。トランプ米大統領は「関税障壁について日本と暫定的な合意に達した。日本と数週間以内に合意手続きに入る」と述べている。

**【本日の重要指標】** ※時刻表示は日本時間

&lt;国内&gt;

特になし

&lt;海外&gt;

- 10:30 ◎ 4-6 月期豪住宅価格指数（予想：前期比▲1.0%/前年比▲7.7%）
- 10:30 ◎ 9 月豪準備銀行（RBA）理事会議事要旨
- 16:30 ◇ 8 月スウェーデン失業率（予想：6.3%）
- 18:00 ◎ 9 月独 ZEW 景況感指数（予想：▲37.0）
- 18:00 ◎ 9 月ユーロ圏 ZEW 景況感指数
- 18:40 ◎ ビルロワ・フランス中銀総裁、講演
- 21:30 ◇ 7 月カナダ製造業出荷（予想：前月比▲0.2%）
- 22:15 ◎ 8 月米鉱工業生産指数（予想：前月比 0.2%）  
◇ 設備稼働率（予想：77.6%）
- 23:00 ◎ 9 月全米ホームビルダー協会（NAHB）住宅市場指数（予想：66）
- 18 日 01:35 ◎ レーン欧州中央銀行（ECB）専務理事兼主任エコノミスト、講演
- 18 日 02:10 ◎ クーレ ECB 専務理事、講演
- 18 日 05:00 ◎ 7 月対米証券投資動向
- 米連邦公開市場委員会（FOMC）1 日目
- 第 74 回国連総会開幕（ニューヨーク）
- イスラエル総選挙

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

## 【前日までの要人発言】

16 日 07:54 トランプ米大統領  
「サウジアラビアへの攻撃に対する反撃態勢は整っている」

「戦略石油備蓄 (SPR) の放出を認める」

16 日 21:04

「エネルギーに関してはこの数年さまざまなことを行った (ありがとう、大統領)。我々はエネルギーの輸出国で、今では世界一のエネルギー供給者だ」

「我々は中東の原油もガスも必要ない。実際にタンカーもほとんどない、しかし同盟国には援助する」

「中国の大きな通貨の切り下げや景気刺激策により、中国の生産者物価はこの 3 年で一番縮小している」

「ドルは今までで一番強い！ 輸出にとっては非常に悪い」

「インフレもないのに、FRB のせいで米国が最も高い金利だ。他の競合国よりも高い金利を支払い続けている」

「パウエル FRB 議長と FRB が何も分かっていないから、彼ら (競合国) はラッキーだ」

17 日 04:29

「サウジ石油施設攻撃、イランの関与は間違いないようだ」

17 日 07:22

「関税障壁について日本と暫定的な合意に達した」

「日本と数週間以内に合意手続きに入る」

16 日 15:44 ラーブ英外相

「10 月の欧州会議で合意することができる」

「ブレグジットに関しての 2 回目の国民投票はない」

「我々は 10 月 31 日に離脱する」

16 日 17:47 ストゥルナラス・ギリシャ中銀総裁

「おそらくラガルデ氏 (次期 ECB 総裁) は超緩和的な刺激策を維持するだろう」

「先週の刺激策は、インフレ率は低いままなので必要だった」

「インフレ予測は ECB の目標よりかなり低いまま」

16 日 18:45 ペリー米エネルギー長官

「イランがサウジアラビアを攻撃した」

「サウジアラビアの攻撃は、世界のエネルギー・システムへの攻撃だ」

16 日 21:07 ユンケル欧州委員長

「ジョンソン英首相との会談は良かった」

16 日 21:12 レーン ECB チーフ・エコノミスト

「目標としているインフレの収束は、最近はやや一部では戻っている」

16 日 23:42 ジョンソン英首相

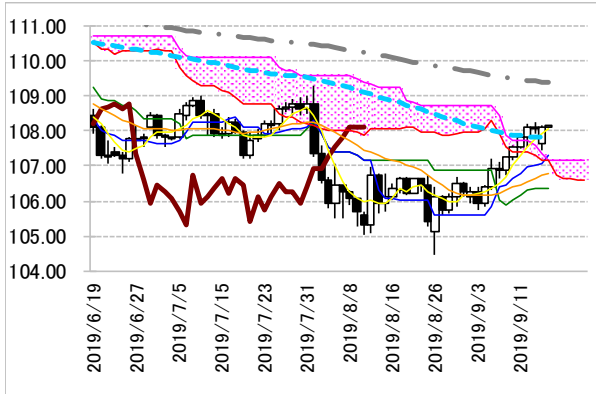
「欧州連合 (EU) 離脱を巡る合意からアイルランド国境問題の解決策『バックストップ (安全策)』の削除が必要」

「合意できない場合、10 月 31 日に EU から離脱する」

「我々は合意のために全力を尽くす」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

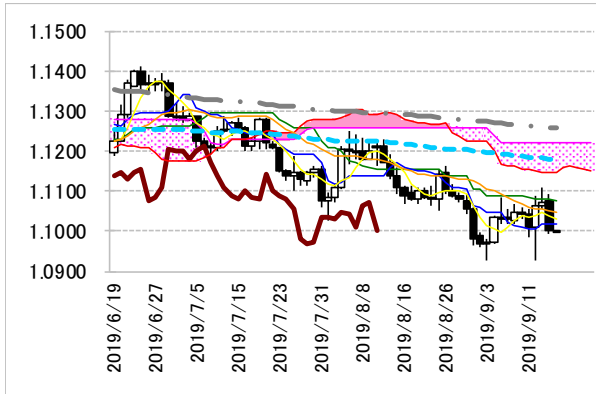


### <ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、雲の上で推移していることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。しかし、13日の寄り同事線が反落の可能性を示唆していることで要警戒か。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下回った場合は手仕舞い。

レジスタンス1	109.32(8/1 高値)
前日終値	108.12
サポート1	107.30(日足一目均衡表・転換線)
サポート2	106.36(日足一目均衡表・基準線)

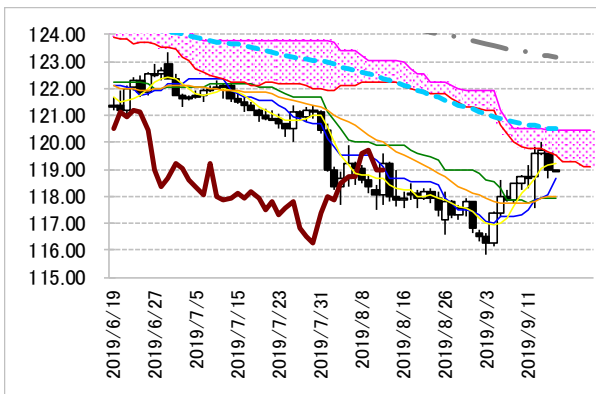


### <ユーロドル＝基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

大陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。2手連続陽線で反発したものの「抱き線」で反落しており、下落トレンド再開の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1077(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	1.1001
サポート1	1.0927(9/12 安値)

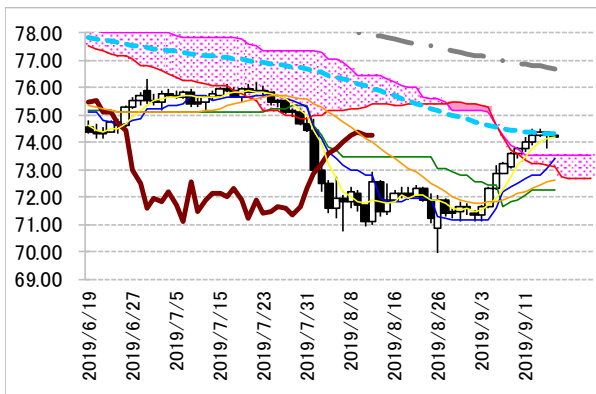


### <ユーロ円＝雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回っていることで、雲の下で推移しているものの、買いシグナルが優勢な展開となっている。しかし、高値圏での三川宵の明星で反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	119.52(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	118.96
サポート1	117.94(日足一目均衡表・基準線)



### <豪ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

小陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、雲の上で推移していることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。陽線新高値9手で「新値八手十手は酒田の骨子」での調整局面の可能性が高まっており、小陰線で反落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	75.20(7/30 高値)
前日終値	74.23
サポート1	73.38(日足一目均衡表・転換線)

